

「子どもの感染しやすい病気」

浅草ひかりにこここ園

※学校保健安全法(施行規則第18条)に基づき次の病気にかかった時は、病院で受け取った「学校・園 感染症報告書」に診断結果等を保護者が記入し、それを提出することで登園を再開させてください。

	病名	潜伏期間	症状	出席停止期間の基準 (※医師が感染の恐れがないと認められた時はこの限りではない)
第1種	()			治癒するまで
	1	インフルエンザ	1~3日 ・急に発熱、頭痛、腰痛、関節痛、鼻づまり、くしゃみ、咳、たんなどが出る。 ・咳が強く、のどや扁桃腺がはれ痛むものがある。	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後、3日を経過するまで
	2	百日咳	1~2週間 ・初めは軽い咳、咽頭の発赤。 ・1週間後よりコンコンヒューと強い咳の発作が2~3カ月続く。(咳は夜間が多い)	特有な咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	3	麻疹(はしか)	10~12日 ・咳とともに発熱し目、鼻、喉が赤くなる。 ・ほほの内側に白い斑点(コプリック班)ができる。 ・くしゃみ、鼻汁、39℃前後の発熱後3~4日で全身に発しんが出はじめる。	解熱した後、3日を経過するまで
	4	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2~3週間 ・発熱(37℃~38℃)頭痛、耳たぶの下から頬にかけて腫れ、痛む。(両側又は片側のこともある) ・食欲不振、飲み込みにくくなる。	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	5	風しん(三日ばしか)	2~3週間 ・軽い発熱とはしかに似た発疹。 ・耳の後ろ、首の後ろなどのリンパ腺が腫れる。	発しんが消失するまで
	6	水痘(水ぼうそう)	2~3週間 ・発熱と同時に頭髪の中や足の裏、手のひらまで発しん、水疱となり、しだいにかさぶたになる。	全ての発しんが痂皮化するまで
	7	咽頭結膜熱(プール熱)	5~7日 ・発熱(38℃~40℃)咽頭痛、結膜炎(充血、目やになど)をおこす。	アデノウイルスが原因です。 主要症状が消退した後2日を経過するまで
	8	新型コロナウイルス感染症	2~7日 ・発熱・咳・鼻水・喉の痛み・全身倦怠感・息苦しさ・嗅覚異常・味覚異常・下痢などが現れることもあります。	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで
	9	結核	1~2か月 ・初期症状は食欲不振、倦怠感、微熱、悪寒、体重減少など。 ・症状の進行に伴い、呼吸器症状である持続性の咳やたん、血たん、喀血をみることがある。	医師が感染のおそれがないと認めるまで
第2種	10	髄膜炎菌性髄膜炎	2~4日 ・突然の発症がみられ、髄膜炎症状(頭痛、発熱、痙攣、意識障害、髄膜刺激症状、乳児では大泉門膨隆)を示す。 ・点状出血がみられることもある。	症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで
	11	コレラ	2~5日 ・激しい水溶性で米のとぎ汁のような下痢便がみられる。 ・大量の嘔吐がみられ、重い場合は激しい脱水が起こり、尿も出なくなり痙攣をおこす。	
	12	細菌性赤痢	1~5日 ・急に39℃~40℃の発熱、吐き気、腹痛を訴える。 ・粘液状下痢便1日数回。 ・不安、興奮、痙攣、意識を失う場合もある。	
	13	腸管出血性大腸菌感染症	3~5日 ・病原性大腸菌による下痢、腹痛、発熱などがあり、増悪すれば激しい血便をとまなう。 ・通常1週間くらいで治癒するが、乳幼児は菌が出す毒素で、貧血、尿毒症症状、痙攣、出血などを合併することがある。	
	14	腸チフス	7~14日 ・高い熱を出す全身性の病気で、倦怠感、食欲不振、腰の痛みなどがみられる。 ・体温が日1日と少しずつ上がり、1週間後には40℃前後になる。	医師が感染のおそれがないと認めるまで
	15	パラチフス	2週間程 ・高い熱を出す全身性の病気で、倦怠感、食欲不振、腰の痛みなどがみられる。 ・臨床的に腸チフスと区別する事は難しい。	
	16	流行性角結膜炎(はやり目)	5~7日(感染期間) ・白目が赤くなりまぶたも腫れ、目やにが多く出る。 ・一方から他方にうつり痛み、まぶしく見えにくい。	
17	急性出血性結膜炎	1~2日(感染期間) ・目の強い違和感と痛み、結膜下の出血などがみられる。 ・視力障害を残すことはない。		
第3種	(下記は条件によって出席停止の措置が必要と考えられるもの)			
	18	溶連菌感染症	2~4日 ・急に発熱、震え、寒気 ・のどの痛み、扁桃腺発赤嘔吐など、2~3日後一面に発疹。舌は赤い発疹苺状になる。	抗生剤治療開始後24時間を経て全身状態が良くなるまで
	19	手足口病	3~6日 ・手、足、大腿などに水疱丘疹、口の中に発しんが出る。(口内炎) ・発熱を伴うことがある。	発熱、口内疹などの急性期症状が消退して、全身状態の安定するまで
	20	伝染性紅斑(りんご病)	4~20日 ・両頬がりんごのように赤く、少し盛り上がる。 ・手足に網状の発疹38℃前後の発熱。 ・無熱のこともある	発しんのみで全身状態が良ければ登園可能
	21	その他の感染症()	(注)ウイルス肝炎・マイコプラズマ感染症・ヘルパンギーナ 流行性嘔吐下痢症(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス) ヒトメタニューモウイルス・RSウイルス	症状が改善し、全身状態のよくなるまで

(注)・第1種の病名とは…
エボラ出血熱・クリミア・コンゴ出血熱・痘そう
・南米出血熱・ペスト・マールブルグ病・
ラッサ病・急性灰白髄炎・ジフテリア・重症急性
呼吸器症候群・特定鳥インフルエンザ(H5N1)
・新型インフルエンザ等感染症・指定感染症
及び新感染症をいいます。


☆診断されたら、出席停止です。
報告書を出してから登園してください。

☆第2種の病気と診断されたら…
出席停止です。必ず報告書を出してから
登園してください。報告書の用紙は、
病院でもらえます。
(市外の病院で受診された場合は、
園でお受け取りください。)

◎出席停止とは…

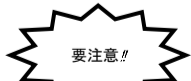
・園児、児童がなんらかの事情により、
園(学校)に登園してはならない状態になること、
またはその扱いのことである。

園内の感染拡大の予防の為に、
お手数をおかけしますが、
ご協力をよろしく
お願いします。



☆第3種の病気(No.16まで)と診断されたら…
出席停止です。必ず報告書を出してから登園してくだ
さい。報告書の用紙は園または病院でもらえます。
(市外の病院で受診された場合は、園でお受け取りく
ださい。)

☆第3種の病気(No.17~20まで)と診断されたら…
園の判断としては、報告書が必要です。
必ず医師に登園してもよいか確認をして、
報告書をもってください。



※次の病気にかかった場合…
アタマジラミ・水いぼ・とびひ
上記の3つに関しては、報告書は必要
ありません。
医師が予防処置をし、感染のおそれが
ないと認められた時は、登園を受け入れます。